

視点・論点

6月定例会

6月定例会において、各常任委員会で議論となったものを各委員長がまとめたものです。

総務委員会

総務委員会に付託された議案は人事案件二件、条例案件一件、補正予算案件二件、その他の案件一件、請願一件の計七件でした。「監査委員の選任」と「固定資産評価審査委員会委員の選任」はいずれも専門的能力に優れた方との説明を受け、全員賛成しました。専決処分「平成十三年度一般会計補正予算(第八号)について」は須玖小学校校舎増築のための国庫負担額が決定し、単価に差額が生じたため補正したもので、全員が承認しました。「筑紫自治振興組合規約の一部改正」は筑紫地区精神障害者生活支援センターを設立するに当たり、一部事務組合の組織化は不可能なので四市一町で構成している筑紫自治振興組合で担当しては、との県よりの指導に従い、組合議会で協議し、規約の一部を変更することに同意を求められたもので全員賛成しました。請願「不実記載申請による住民基本台帳閲覧における春日市民への危険通知に関する請願について」は有印私文書偽造並びに同行使罪にて告発するよう春日市長に勧告することを求めたもので委員会で審議を行い、継続審査にすることに全員賛成しました。

文教委員会

委員会に付託された三議案について審査を行いました。「人権擁護委員の候補者の推薦」については、全員が初井勇次氏への推薦に同意しました。あとの二議案は「春日西中学校の校舎増築工事」と「春日北小学校の校舎プール増築工事」について指名競争入札により工事請負契約の締結を行うもので、全員が原案に同意しました。

審査の過程では、二議案とも工事期間が来年の二月、三月までと長期間になるため、特に児童・生徒の安全対策について万全を期すよう要望しました。

また、入札に際して談合情報が寄せられたため、「公正入札調査委員会」で十分な調査を行った上で入札が実施された旨の報告がありましたので、今後もこうした情報に際しては、「中立・公正」な立場で適切な対応がなされるよう要望いたしました。

厚生委員会

付託された老人保健医療事業特別会計補正予算と報告議案二件(市税条例と都市計画税条例の一部改正について)を慎重に審査を行い全議案を可決しました。市税条例の改正は、個人市民税

の均等割及び所得割の非課税限度額の引き上げなどです。

委員会では介護保険について調査研究を続けています。今定例会に、昨年実施された介護保険認定者に対する介護保険サービス利用実態調査の報告を受けました。

報告によると利用率は七十七・四％と比較的高く、未利用の理由は、今は必要ないがほとんどで利用料一割を負担に思う率は一％もありません。認定結果への満足度は八十七・二％で不満の理由で多いのは「予想より軽い」こと。利用の一割負担を納得する率は九十六・五％と高い。利用者の六十八％が居宅、三十％が介護保険施設で受けています。介護サービスに対する満足度は種類によって異なるが職員の対応には七十％が満足しています。

来年度の制度見直しに向け、この報告を含めて、さらに委員会で調査、研究を行っていきます。

建設委員会

当委員会が付託を受けたのは、三議案でした。

「春日市非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する条例の一部を改正する条例の制定」の議案は、消防団員等公務災害補償等責任共済等に関する法律施行令の一部が改正されたため、非常勤消防団員の退職報償金の額を改定す

るものです。

今回の改正は階級・年数にかかわらず一律に四千円を増額し階級や年数による格差が是正されています。委員会では大変困難な任務を持つ非常勤消防団員に対して本市独自の上乗せの検討を求め全員賛成しました。

「市道路線の認定」の議案は、開発行為などで市に寄附された行き止まり道路を住民の利便向上のため、市道認定基準が改正され二十六路線を市道として認定するものです。「福岡市の区域内における春日市道の設置に関する協議」の議案は井尻六差路そばの市道に沿って寄附により設置された歩道を春日市で管理するための議案です。全路線について現地調査を行い全員賛成で可決しました。



市道路線の現地調査を行う建設委員会